

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩 20 分
4	青梅市郷土博物館	① JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分 ② JR 青梅線「青梅駅」から都バス「駒木町循環」(梅 77 系統)に乗り、「郷土博物館入口」バス停下車徒歩約 5 分
5	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
6	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅東口」コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市こども科学館)	JR 中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
8	八王子市郷土資料館	① JR「八王子駅」南口から徒歩 15 分 ② JR「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩 3 分
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分 ② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
10	福生市郷土資料室	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
11	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩 1 分
13	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分③ JR 青梅線「西立川駅」下車、徒歩 20 分
14	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
15	首都大学東京 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
16	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」より京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
17	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩 2 分
18	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
19	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ②「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分(いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
20	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 8 分
21	たましん歴史・美術館	JR 中央線「国立駅」南口前
22	パルテノン多摩歴史ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
23	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
24	町田市立博物館	小田急線・JR 横浜線「町田駅」より町田バスセンター 11 番乗り場発「藤の台団地」「鶴川団地」「鶴川駅」行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 武蔵野線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑬「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
27	江戸東京たてももの園	① JR 武蔵小金井駅北口バス 2 番 3 番停留所より「小金井公園西口」下車徒歩 5 分②西武新宿線花小金井駅南口よりバス「南花小金井」(小金井街道沿い) 停留所より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
28	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
29	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 10 分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
30	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」ともに北口よりはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車
31	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
32	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	①中央線三鷹駅南口または武蔵境駅南口より小田急バス国際基督教大学行にて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで 10 分
33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩 12 分 ②武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗りし、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
34	狛江市立古民家園 (愛称:むいから民家園)	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」より徒歩 10 分 ②小田急線「狛江駅」北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

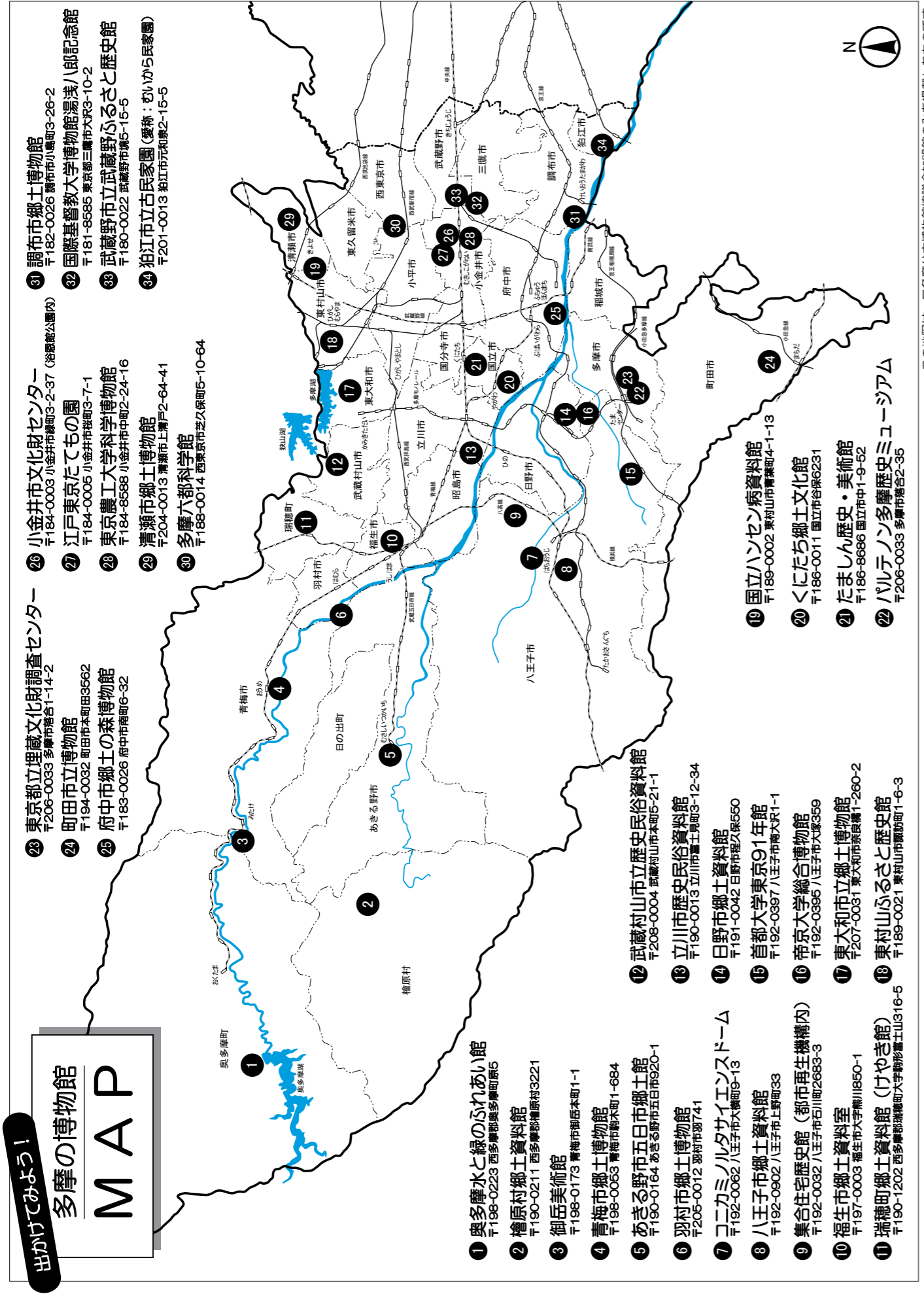
催し物案内2018年度秋・冬号

2018年10月～2019年3月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。
多摩地域の博物館をめぐってみませんか!



この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

出かけてみよう！
多摩の博物館
MAP

- 1 奥多摩水と緑のふれあい館 〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5
- 2 檜原村郷土資料館 〒190-0211 西多摩郡檜原村3221
- 3 御岳美術館 〒198-0173 青梅市御岳本町1-1
- 4 青梅市郷土博物館 〒198-0053 青梅市野木町1-684
- 5 あきる野市五日市郷土館 〒190-0164 あきる野市五日市920-1
- 6 羽村市郷土博物館 〒205-0012 羽村市741
- 7 コカミソノライオンズエントーム 〒192-0062 八王子市大橋町9-13
- 8 八王子市郷土資料館 〒192-0602 八王子市上野町33
- 9 集合住宅歴史館（都市再生機構内） 〒192-0032 八王子市石川町2663-3
- 10 福生市郷土資料室 〒197-0003 福生市大字瀬川1850-1
- 11 瑞穂町郷土資料館（けやき館） 〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士1616-5
- 12 武蔵村山市立歴史民俗資料館 〒208-0004 武蔵村山市本町15-21-1
- 13 立川市歴史民俗資料館 〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- 14 日野市郷土資料館 〒191-0042 日野市原久保560
- 15 首都大学東京91年館 〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- 16 帝京大学総合博物館 〒192-0396 八王子市大塚359
- 17 東大和市立郷土博物館 〒207-0031 東大和市赤坂南1-280-2
- 18 東村山ふるさと歴史館 〒189-0021 東村山市諏訪町11-6-3
- 19 国立ハンセン病資料館 〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13
- 20 くにおだち郷土文化館 〒186-0011 国立市谷保6231
- 21 たましん歴史・美術館 〒186-8686 国立市中1-9-52
- 22 パルテノン多摩歴史ミュージアム 〒206-0033 多摩市場合2-36
- 23 東京都立埋蔵文化財調査センター 〒206-0033 多摩市場合1-14-2
- 24 町田市立博物館 〒194-0032 町田市本町田3562
- 25 府中市郷土の森博物館 〒183-0026 府中市南町6-32
- 26 小金井市文化財センター 〒184-0003 小金井市緑町3-2-37（清瀬公園内）
- 27 江戸東京たてもの園 〒184-0006 小金井市桜町3-7-1
- 28 東京農工大学科学博物館 〒184-8588 小金井市中町2-24-16
- 29 清瀬市郷土博物館 〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-64-41
- 30 多摩六都科学館 〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- 31 調布市郷土博物館 〒182-0026 調布市小園町3-26-2
- 32 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 〒181-8585 東京新三鷹市大沢3-10-2
- 33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 〒180-0022 武蔵野市溝5-15-5
- 34 狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園） 〒201-0013 狛江市元和町2-15-5

30 多摩六都科学館 世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30～17:00（入館は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）、その他機器整備の休館あり（1/28～31）	入館料	大人500円、小人（4歳～高校生）200円 ※年間パスあり プラネタリウム、大型映像は別料金	☎	042-469-6100
------	------------------------	-----	---	-----	--	---	--------------

●秋の企画展「鏡であそぼう ～ミラクルワールド～」(10.6～11.4) 鏡に映ったり映したり、何枚も組み合わせたり、不思議でキレイでおもしろい鏡の世界「ミラクルワールド」であそぼう！
 ●秋の企画展「日本万華鏡大賞展～アイデア満載！優秀作品大集合～」(10.6～11.4) 日本万華鏡大賞公募展で受賞した優秀作家による新作、および2000年～2014年の受賞作品全25点を展示します。科学と芸術が融合したアイデアあふれる美しい万華鏡の世界をご覧ください。 ●生解説プラネタリウム「ギリシャ神話の世界」(10.6～12.21)
 ●大型映像「HAYABUSA2 -RETURN TO THE UNIVERSE-」(～10.31)、「星の旅 世界編」(11.1～)
 【URL】 <https://www.tamarokuto.or.jp>

31 調布市郷土博物館 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	----------------------------	-----	----	---	--------------

●明治150年関連企画展「明治期の調布—教育・産業・戦争—」(10.12-12.16) 今年は、明治元年から満150年の年に当たります。教育・産業・戦争をテーマに、明治期の調布の様子について紹介します。
 ●郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(31.1.8-3.24) わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。
 博物館以外の会場で行う展示 ●国宝指定関連企画展「深大寺本堂再建百年記念—焼失をのがれた国宝白鳳仏と寺宝の数々—」(11.1-11.8) 慶応元年(1865)に諸堂と共に焼失した本堂は今年再建100年を迎えます。寺に残る文書から慶応の大火と復興を紐解き、焼失をのがれた寺宝の数々を展示します。【展示会場：深大寺本堂、13:00～16:00】
 【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

32 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	10:00～17:00（土曜日は16:30まで）	休館日	日曜・月曜・祝日・3月、7月の土曜日・展示準備期間（特別展開催期間外）・夏期休暇中および年末年始	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	--------------------------	-----	--	-----	----	---	--------------

●特別展「松浦武四郎生誕二百年記念 ICUに残る一畳敷」(9.11～11.9) ICU構内に残る国登録有形文化財のひとつ、武四郎が晩年に建てた書斎「一畳敷」に焦点を当てます。
 ●シンポジウム「一畳敷の世界を探究する」(10.6) 『泰山荘 松浦武四郎の一畳敷の世界』の著者ヘンリー・スミス博士の基調講演のほか、松浦武四郎研究で知られる山本命、三浦泰之両氏をお招きしパネルディスカッションを行ないます。
 ●特別展「型染と印判手」(1.8～3.8) 型紙を使って藍で染められた染織品と、型を使用して文様を施した印判手の器を紹介し、
 【URL】 http://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/index.html

33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜・祝日・年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	------------	-----	----	---	--------------

●特集展示「新指定の文化財」(9.15～11.15) 武蔵野市教育委員会は7月2日付けで、「仙路翁墓碣碑」（蓮乗寺）と「武蔵野八景碑」（杵築大社）を武蔵野市の文化財に新指定しました。いずれも武蔵野市域の歴史や文化を考察する上で貴重な資料です。この2件の新指定文化財の特集展示を行います。
 ●企画展「中島飛行機関連展示」(10.13～12.27) 当館は平成27年より「戦争と武蔵野」をテーマに毎年、企画展を開催してまいりました。4回目となる今年は、当館からの呼びかけに応じて寄贈いただいた新たな資料もご紹介し、中島飛行機武蔵製作所への爆撃を中心に、武蔵野の戦争を振り返る展示を実施いたします。
 ●学校教育連携展示「武蔵野のくらしの移り変わり（仮称）」(1.19～4.25) 戦前・戦後の武蔵野市域のくらしはどのようなものだったのでしょうか。かつてを知る古老たちの語りや道具、写真などを元に、くらしの移り変わりについての展示を行います。
 【URL】 http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

34 狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園） 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（休日にあたるときはその翌開園日）、年末年始（12.28～1.4）	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--------------------------------------	-----	----	---	--------------

年内は、染め物の体験教室や古民家のかまどを使ってご飯を炊く「かまどでご飯」などを行う予定です。年末には、正月飾りの生け花教室、年始には正月飾りやまゆ玉飾りの展示のほか正月遊びなどを行う予定です。2月・3月には、節分や桃の節句にちなんだ展示やうどん打ち体験教室を行う予定です。日時などの詳細については、ホームページでお知らせします。
 【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,html>

25	府中市郷土の森博物館	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.29～1.3)、臨時休館	入館料	大人300円、4歳～中学生150円	☎ 042-368-7921
<p>プラネタリウムと天文展示コーナーがリニューアルオープンしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画展「東京最古の旧石器」(～10.28) 武蔵台遺跡の旧石器を、最新の調査成果をまじえて紹介します。 ●ミニ展「府中の博物館50年」(～12.2) 府中市最初の博物館「市立郷土館」が出来てから半世紀を記念し、郷土館に関する資料や50年前の世相を紹介します。 ●企画展「ちょっとむかしのくらし その3」(11.10～3.17) ちょっとむかしの道具を紹介し、くらしの変遷を探ります。 ●特別展「あしもとネイチャーワールド 渡る冬鳥大捜査線」(1.26～3.10) 府中で見られる留鳥、渡り鳥、新たに出してきた市街地の鳥を捜査。雑多な野鳥の中に冬鳥の謎を追います。 ●梅まつり(2.2～3.10) ピンクや赤や白の美しい花、やさしい香りに園内が包まれます。 <p>【URL】http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</p>						

26	小金井市文化財センター	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、12.29～1.3、館内整備のための臨時休館日	入館料	無料	☎ 042-383-1198
<p>当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市制施行60周年及び明治(東京)150年を記念した企画展と記念講演会を開催します。 企画展「小金井の絵図」(11.1～12.24) 大判村絵図とともに近世～近代の多数の絵図を公開 記念講演会「古絵図でたどる小金井の幕末明治」(2.2) ●文化財講演会「江戸遺跡と小金井」(11.10) ●史跡めぐり(11.17) ●古文書講座(2019.2下旬～3中旬、3回) <p>【URL】http://tamahaku.jp/kojin/</p>						

27	江戸東京たてもの園	江戸東京の歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。				
開園時間	10月～3月: 9:30～16:30 (入園は16:00まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12.25～1.1)	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎ 042-388-3300
<ul style="list-style-type: none"> ●展示室「東京150年記念—都市とたてもの、ひと」(7.24～31.1.20) 「武蔵野の歴史と考古学—江戸東京たてもの園収蔵品展—」(2.5～5.12) ●秋冬の催し「体験!発見!職人さん」(10.27・28)、「夜間特別開園 紅葉とたてものライトアップ」(11.23・24・25)、「正月臨時開園 江戸の正月を楽しもう」(31.1.2・3)、「正月の昔あそび」(1.5・6)、「たてもの園フェスティバル」(3.21～28) 綱島家年中行事 十三夜飾り(10.19～26)、大根干し(11.29～12.19予定)、小正月繭玉飾り(31.1.10～24予定)、節分(2.3) ●定例の催し ミュージアムトーク(第4土曜日)、伝統工芸の実演(第2土曜日と翌日曜日) <p>【URL】http://www.tatemonoen.jp/</p>						

28	東京農工大学科学博物館	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)、年末年始等	入館料	常設展無料	☎ 042-388-7163
<ul style="list-style-type: none"> ●「作ろう触れよう感じよう!放送技術のこれまでと将来」(10.27～12.15) ●岡谷蚕糸博物館連携記念企画展「繭から糸を繰る～製糸技術の変遷と未来」(1.5～3.3) ●記念シンポジウム「勸工寮葵町製糸場図面発見!近代製糸技術の継承と未来」(2.2) ●「博物館友の会作品展」(2.2～9) クラウドファンディング幻の制糸場を追い!勸工寮葵町製糸場図面を行う予定です。(2019年2月ごろ予定)(イベント内容は変更することがございます。詳細はHPをご確認ください。) <p>【URL】http://www.tuat.ac.jp/~museum/</p>						

29	清瀬市郷土博物館	清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)12.29～1.3 臨時休館10.2～11.30	入館料	無料	☎ 042-493-8585
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「渡辺うめ人形展—あぜみちの詩—」(2.2～2.24) ●事業 クリスマスコンサート(12.23)、まゆ玉飾り(1.12)、節分とやっかがし(2.2) ●先人の知恵に学ぶシリーズ しめ縄作り(12.9)、親子で郷土料理(3.24) ●講座 歴史講座(2.16・23) <p>10月2日から11月30日まで改修工事のため臨時休館となります</p> <p>【URL】http://www.city.kiyose.lg.jp/</p>						

1	奥多摩水と緑のふれあい館	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日)12.28～1.4	入館料	無料	☎ 0428-86-2731
<p>奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業なども展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヘブンアーティスト公演(10.13) 12:00～、14:00～ 東京都認定ヘブンアーティストによるマジック等の公演 ●秋のミニコンサート(11.10・11) 両日11:30～、13:20～ 都民交響楽団有志による公演 ●白箸づくり体験(2.10・11) 両日10:00～16:00 日原地区で作られていた、箸づくり体験 ●川野の車人形公演(3.10) 小河内の郷土芸能である車人形の公演 <p>【URL】http://www.okutama.gr.jp/</p>						

2	檜原村郷土資料館	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料	☎ 042-598-0880
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 ●特別展「檜原村のお祭り写真展」(9.16～10.14) 檜原村で行われているお祭り・郷土芸能の写真約50点を展示します。 ●特別展「檜原村野鳥写真展」(2.10～3.10) 檜原村に生息する野鳥の写真約30点を展示します。 <p>【URL】http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html</p>						

3	たましん御岳美術館	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30(11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始冬季休館	入館料	一般500円、高大生400円、中学生300円	☎ 0428-78-8814
<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度たましん御岳美術館後期展示「日本近代絵画における画家と弟子たち」(9.4～12.16) 常設展示 日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち—荻原守衛、中原悌二郎、高村光太郎など 倉田三郎記念室 倉田三郎 旅の素描—オランダ— ●スケッチの日【開館記念日】(11.2)(11.3) ※雨天決行 開催時間10:00～15:30(受付は15:00まで) 御岳溪谷の風景を楽しみながらスケッチしませんか?画材は無料で貸出します。初めての方もお気軽にご参加ください。 <p>【URL】http://www.tamashin.or.jp/mitake.html</p>						

4	青梅市郷土博物館	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)12.29～1.3	入館料	無料	☎ 0428-23-6859
<ul style="list-style-type: none"> ●「新収蔵品展2018」(10.20～H31.1.6) 平成29年度に収蔵した資料の中から主なものを紹介します。 ●企画展「青梅市の文化財住宅(仮称)」(H31.1.19～3.31) 青梅市内にある文化財住宅について、その歴史や特徴などを紹介します。 <p>【URL】http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</p>						

5	あきる野市五日市郷土館	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日(水曜日が祝日の場合は翌日も)、年末年始	入館料	無料	☎ 042-596-4069
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。また、敷地内にある旧市倉家住宅では、年中行事展示(五月人形、鯉のぼり、七夕)を行います。 ●企画展「明治150年 五日市憲法草案とその時代」(8.16～12.16) 明治元年から今年が150年にあたり、また、昭和43年の五日市憲法草案発見から50周年にあたることから、その記念事業の一環として企画展を開催します。今回の企画展では、五日市憲法草案が作成された当時の五日市の町並みの様子を地図上に復元し、また、古い町並み写真なども展示し、五日市憲法草案が作成された時代背景や経済的・文化的背景を明らかにし、五日市の自由民権運動の動向を探ります。 ●ミニ企画展 郷土の古文書 その28「実現されなかった五日市囃鳴社社則届書」 <p>【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</p>						

6	羽村市郷土博物館	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。					
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00 ※12月末まで一時閉館)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561
<p>旧下田家住宅は茅葺屋根の葺き替えその他内部の修理工事のため、9月～12月末まで中に入ることはできませんが、中庭に見学スペースを設け、作業風景を見ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ミニ展示「玉川上水を調べよう！」(6.16～12.16) ●季節展示「お正月かざり」(1.4～1.13) ●季節展示「まゆ玉かざり」(1.8～1.13) ●特別展「御札と旅～羽村人の祈り～」(9.15～12.23) ●企画展「むかしのくらし」(1.8～1.27) ●企画展「ひな人形展」(2.9～3.10) <p>【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>							

7	コニカミノルタ サイエンスドーム(八王子市こども科学館)	平成29年7月リニューアルオープン。プラネタリウムと「遊び科学」「宇宙」などの参加体験型の展示。					
開館時間	10:00～17:00(ただし火～金曜9:00～12:00は事前予約団体専用)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など(夏休み期間は無休)	入館料	大人200円、4歳～中学生100円(プラネタリウム料金別)	☎	042-624-3311
<p>29年7月に展示をリニューアル。1階は未就学児もお楽しみいただける「遊びカガク」コーナーになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たたら製鉄体験…鉄を溶かす炉(たたら)を手作りし、製鉄の実演をします。「砂鉄から鉄を作る」過程を解説し、化学変化を体験していただきます。炉(たたら)作り(10.20)、講義とたたら製鉄実演(10.27※雨天の場合は11.3) ●浅川化石観察会(11.4)館内でハチオウジゾウの解説と発掘場所での化石観察。 ●プラネタリウムでは月に一度、土曜日の夜に投影する「トワイライトプラネタリウム」、第四日曜日15:50～は解説員による「全編生解説プラネタリウム」も好評。「しまじろうとたんじょうびのおほしさま」「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2」「ポケットモンスター サン&ムーン」を投影中。 ●土日祝には親子で楽しめる「工作教室」「実験ショー」などを開催。 <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</p>							

8	八王子市郷土資料館	八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や機織の体験も。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日、祝日の翌日、年末年始、その他館内整理日)	入館料	無料	☎	042-622-8939
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「近世八王子 文芸の息吹—学問と芸術の世界—」(10.13～11.25)江戸時代の八王子に花開いた文芸の世界を紹介します。 ●特別展「八王子の民間信仰(仮)」(2.15～3.24)八王子の庶民の信仰のかたちを紹介します。 ●企画展「未来への贈り物～新収蔵展」(4.28～3.31)平成29年度に資料館に寄贈された資料を展示します。 ●企画展「七福神」(12.26～1.20)八王子に残る七福神の資料を展示します。 <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html</p>							

9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。					
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制	☎	042-644-3751
<ul style="list-style-type: none"> ●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。 ●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など ●見学方法 事前予約制のため予め電話で申込みください。 <p>【URL】http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>							

10	福生市郷土資料室	福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳椀倉の復元展示も行っています。					
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始	入館料	無料	☎	042-530-1120
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展示「歌舞伎を描いた明治の錦絵」(9.22～11.25)明治の錦絵の中から、歌舞伎に関する錦絵を選びすぐり展示いたします。洗練された線で描かれた人物、美しく上品な歌舞伎の衣装、いきいきと描かれた各演目の見せ場などは一見の価値があります。ぜひこの機会にご覧ください。また、10月28日(日)に安田吉人氏(中央学院大学非常勤講師)をお招きし、特別展示記念講演会「役者絵の歴史」(定員30人・先着順)を開催いたします。参加をご希望の方は電話または郷土資料室窓口でお申込みください。 ●企画展示「正月の飾り物」(12.1～1.27)新しい年を祝う大正月に飾る「神酒の口」や、小正月に豊作を願う「モノツクリ」、「繭玉飾り」などを展示します。 ●企画展示「バードカービング展」(2.2～4.14)鳥類の姿を忠実に再現した木彫模型であるバードカービングを展示します。 <p>【URL】http://www.museum.fussa.tokyo.jp</p>							

21	たましん歴史・美術館	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。					
開館時間	10:00～18:00(入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日、年末年始	入館料	100円※中学生以下無料	☎	042-574-1360
<ul style="list-style-type: none"> ●東洋古陶磁展～造形と意匠～(9.25～12.9)ギャラリートーク(11.9 14:00～) ●所蔵資料公開【I】倉田三郎の美術(1.8～3.10)ギャラリートーク(1.25 14:00～) <p>【URL】http://www.tamashin.or.jp/</p>							

22	パルテノン多摩歴史ミュージアム	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。					
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(4.18・19、5.16・17、6.13・14、7.10～12、8.15・16、9.5・6)	入館料	無料	☎	042-375-1414
<ul style="list-style-type: none"> ●多摩市立図書館連携展示「調布玉川惣画図を歩く ともぬしの多摩名所案内～多摩市立図書館コレクションから～」(開催中～11.13)多摩市立図書館コレクションのうち多摩川流域に関する地図や絵はがき・錦絵などを展示し、調布玉川惣画図作者の相沢伴主が説明する展示です。 ●企画コーナー展示「瓜生・貝取と谷戸のくらし」(11.16～4.16)谷戸地形が広がっていた瓜生・貝取地区のかつてのくらしを、多摩くらしの調査団による調査結果をもとに紹介します。 ●4階廻廊展示「多摩の野鳥」(9.26～3.18)多摩市や多摩ニュータウン区域で見られるさまざまな野鳥を、市民が撮影した写真で紹介いたします。 ●みんなの植物観察会(10.9、11.13、12.11、3.12) ●古文書講座初級コース(10.11、25、11.1、22、12.6、20)、中級コース(1.6、13、27、2.17、24、3.2) ●明治150年事業 文化財講演会(10.28、11.10、12.2、3.2)※講座の詳細はホームページでご確認ください。 <p>【URL】http://www.parthenon.or.jp/museum/ 【ツイッター】http://twitter.com/par_tama_museum 【Facebook】https://www.facebook.com/25thparthenon</p>							

23	東京都立埋蔵文化財調査センター	多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	12.29～1.3(年末年始) 3.12～3.20(展示替え)	入館料	無料	☎	042-373-5296
<ul style="list-style-type: none"> ●縄文の村 自然観察会(10.6午前) ●コハク勾玉作り教室②(10.6午後) ●考古学実習①土器拓本・断面図(10.13) ●縄縄文食体験①・②(10.20・10.21) ●考古学実習②石器の作り方(11.3) ●考古学実習③石器観察・実測(11.10) ●土偶作り教室②(11.17) ●第3回文化財講演会(11.23午後) ●考古学実習④カマド・古代食体験(12.1) ●遺跡庭園であったまろう！(12.9) ●映像上映会(1.19午後) ●縄文アクセサリー作り教室③(1.26午後) ●多摩市共催文化財講演会第1回(2.6) ●多摩市共催文化財講演会第2回(2.13) ●多摩市共催文化財講演会第3回(2.23) ●展示説明会(3.21午前) ●遺跡発掘調査発表会(3.21午後) <p>【URL】https://www.tef.or.jp/maibun/</p>							

24	町田市立博物館	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合開館、翌日休館)、展示替期間、年末年始	入館料	一般300円※中学生以下無料、障がい者半額	☎	042-726-1531
<ul style="list-style-type: none"> ●「町田発／はな・とり・こんちゅう 理科をそだてた挿絵画家 天木茂晴」(9.29～11.25 前後期展示替のため10.30休館)教科書や児童科学雑誌の挿絵を手がけた挿絵画家 天木茂晴の原画を中心に、美しい理科系挿絵美術の世界を紹介します。 ●「特別企画 没後50年記念 人間国宝 加藤土師萌」(12.8～2019.1.27)色絵磁器で人間国宝に認定された加藤土師萌の没後50年を記念して、初期作品や多数のスケッチ類をあわせて、その技とデザインをたどります。 ●「一近代ガラスデザインの先駆者—淡島雅吉」(2019.2.9～4.7)日本のガラスデザイナーの草分け的存在である淡島雅吉の代表作「しづくガラス」をはじめとする作品などを展示し、その活動の足跡をたどります。 <p>【URL】http://www.city.machida.tokyo.jp/ 【twitter】https://twitter.com/machida_museum</p>							

11	瑞穂町郷土資料館（けやき館） 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。						
開館時間	10:00～21:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料	☎	042-568-0634
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「吉川緑峰展－画業と足跡－」（10.27～12.23）江戸時代末期から明治時代初期にかけて活動した画家、吉川緑峰は画業に携わるとともに、村政に関わり、茶業の振興や事業を興すなど多様な足跡を残しました。今回の展示では、残された町内外の絵画資料や古文書から、吉川緑峰の画業と多岐にわたる足跡を振り返ります。 ●企画展「けやき館企画展 ひなまつり展 2019」（2月～3月（予定））当館に隣接する耕心館の雛祭りの開催に合わせて、展示を行います。 							
【URL】 http://mizuhokyodo.jp							

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎	042-560-6620
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「年中行事にみる村山のくらし」（11.3～3.3） ●星空観覧会（12.15） ●企画展「栄村に行こう！！！！」（3.23～5.31） ●企画展「狭山丘陵の早春」（3.9～5.31） 							
【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html							

13	立川市歴史民俗資料館 立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-525-0860
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。 ●企画展「〃空の都、たちかわ―立川飛行場の歩み―」（10.23～12.2）立川の近現代史は飛行場の歩みとともにありました。米軍立川基地の返還から40年を経て、その歴史を振り返ります。 ●東京文化財ウィーク 2018 関連事業「銅鉦鼓」展示（10.30～11.25）中世の立河原合戦を実証する貴重な資料を公開します。 ●写真展「立川の風景と人のいとなみ」（12.11～2.17）市内各所で撮影した自然や、人々の暮らしの風景写真を展示します。 ●企画展「昔の道具展（仮）」（1.16～2.17）人々がむかし使用していた民具や道具を展示します。 ●ミニ企画展「桃の節句展」（2.5～3.3）市民のみなさまから寄贈されたひな人形を展示します。 							
【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html							

14	日野市郷土資料館 日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-592-0981
<ul style="list-style-type: none"> ●ガラス乾板からよみがえる100年前の豊田の風景（～12.28） ●第10回藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日イベント（10.14） ●たきび祭前夜祭・本祭（12.7・8） ●どんど焼き（1.12） ●勝五郎生まれ変わり物語探究調査団公開講演会（3.10） ●企画展「ひの宝モノ語り展～くらしの道具に光をあてる」（12.15～4.14） ●特別展「日野の自然～鳥とともに～」市内3か所巡回展示 ※詳細についてはホームページをご参照ください。日野市郷土資料館（10.6～12.9）／平山図書館（12.22～3.3）／カワセミハウス（3.6～3.15） 							
【URL】 https://hino-museum.jp							

15	首都大学東京 91 年館 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。						
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料	☎	042-677-1111 内線 2041
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。首都大学東京の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介しています。 ●大学祭期間特別公開（11.1～3） 都大学東京南大沢キャンパス大学祭「みやこ祭」にあわせて展示室を公開します。 ●その他の企画 ウェブサイト等で 知らせいたします。 							
【URL】 http://tmu-gakugei.jp/index.html							

16	帝京大学総合博物館 帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。						
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	日曜日・祝日・創立記念日・臨時休館日	入館料	無料	☎	042-678-3675
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展 平山郁夫シルクロード美術館連携企画「平山郁夫と旅するシルクロード―スケッチブックのなかの対話―」（10.13～12.15）日本画家の平山郁夫（1930-2009）は長年シルクロードを旅し、そこに残された文化、歴史、自然、を題材にした作品を生涯を通じて繰り返し描きました。本展覧会は、平山郁夫シルクロード美術館（山梨県北杜市）と連携し、平山郁夫が残したシルクロードのスケッチとコレクションを通してシルクロードの雰囲気味わう展覧会です。あわせて、帝京大学が現在調査中のシルクロードの交易都市のひとつである、アク・ベシム遺跡についてもご紹介します。 							
【URL】 http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/							

17	東大和市立郷土博物館 東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。メガスターが映し出すプラネタリウムが評判。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料 （プラネタリウムは有料）	☎	042-567-4800
<ul style="list-style-type: none"> ●プラネタリウム秋番組（9.15～12.2）／プラネタリウム冬番組（12.8～2019.3.3）／プラネタリウム春番組（2019.3.9～） ●特別投影：クリスマス投影（12.15・16） ●中高生のプラネタリウム発表会（12.27） ●企画展示「明治時代の東大和」（9.15～10.21） ●企画展示「ひなまつり」（2019.2.16～3.3） ●旧吉岡家住宅 秋の公開（10.26～28）10:00～16:00 ●旧日立航空機株式会社変電所一般公開（毎月第2日曜日） ●その他各種講座を随時開催 							
【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html							

18	東村山ふるさと歴史館 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。						
開館時間	9:30～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料	☎	042-396-3800
<ul style="list-style-type: none"> ●秋の企画展「東村山の東京125年」（10.6～12.16）多摩地域が東京府へ移管された明治26年から現在までの東村山での出来事を紹介します。付随事業：講演会「明治時代における東京府東村山村の20年」（10.27） ●小学3年生社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」（1.10～3.10） ●下宅部遺跡はっけんのもりへようこそ2018！ - 1日こども縄文ムラ-(11.4) ◆東村山ふるさと歴史館 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/index.html ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/ 							

19	国立ハンセン病資料館 ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。						
開館時間	9:30～16:30 （入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎	042-396-2909
<ul style="list-style-type: none"> ●「ドキュメンタリー作品『もうひとつの橋』上映会」（2018.11.23） 今年は、瀬戸内海の離島のハンセン病療養所（長島愛生園・邑久光明園）に邑久長島大橋が開通して30年になります。架橋運動のさなかに制作された山陽放送のドキュメンタリー『もうひとつの橋』（1983年、「地方の時代映像祭」グランプリ受賞作品）の上映会を開催します。あわせて中尾伸治氏（長島愛生園入所者自治会会長）の講演も行います。定員140名、入場無料。（詳細は当館Webサイト参照） 							
【URL】 http://www.hansen-dis.jp/							

20	くにたち郷土文化館 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。						
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	第2、第4木曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-576-0211
<ul style="list-style-type: none"> ●秋季企画展「本田家と江戸の文人たち」（10.27～12.9）下谷保の名主であり医家でもあった本田家は、文人としての側面ももっていました。本展では、市河米庵・谷文晁など江戸の文人や、多摩の人々との交流を紹介します。展示期間中に関連事業として、講演会を2回（11/3および11/23）および歴史講座（12/1）を開催します。 ●「むかしのくらし展」（1.14～3.11） 市内小学校3年生の社会科見学に関連し、当館が所蔵する「むかしのくらし」に関する資料を紹介します。展示期間中に、関連事業を開催予定です。 ●国立市古民家一時休館のお知らせ（11.1～3末（予定）） 茅葺き屋根のふき替え工事を実施するため、古民家を休館します。ご理解とご協力をお願いします。 							
【URL】 http://www.kuzaidan.or.jp/province/							